



連町通信

安全で安心して暮らせるまちづくりをめざして

発行
釧路市連合町内会

〒085-8505 釧路市黒金町7丁目5番地
釧路市役所内
電話 0154-23-5151
内線 6716
直通電話・Fax 0154-23-2101

～ 地域福祉フォーラム ～

3月12日(火)に 釧路市生涯学習センターで、市連町・民児協・市社協の三者連携による「地域福祉フォーラム」が開催され、約150名の参加がありました。

今回は「つながる、ひろがる、地域づくり～きっとあなたも何かを始めたくなる～」をテーマに北海道医療大学看護福祉学部准教授長谷川聡氏からお話をいただきました。

“楽しくなければ人は集まらない”

長谷川氏は、冒頭に講演の柱となる「楽しくなければ人は集まらない」ということを指摘しました。さらに、使命感



と危機感人を遠ざけ、「やらせる仕組み」で人は動かない、その裏返しとして、興味と驚きと感動で人は集まり、楽しさ・やりがい・達成感で人は動く、と話されました。

長谷川氏の講演は次のとおりです。

所属している劇団を例に、そこにつながっているのは義務感ではなく「楽しい」からである。そしてその活動がもたらしているのは「責任を果たすために健康に注意をするようになった」という責任感や、苦楽を共にすることで強まったメンバー同士の連帯感であり、おのずと日頃からの声かけにつながっている。

岩見沢市において取り組んだ事例の紹介では、シャッターが下ろされていた街なかの洋品店を劇団の稽古場にした。通りから中の様子が見られるようにした改装で、バンドの練習にも、地元作家の絵の展覧

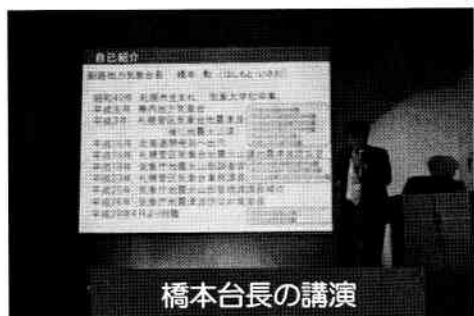
会にも活用されるようになり、これをきっかけに通りに賑わいがあった。こんな風に人は集まってくる。

コミュニケーションで大事なことは顔を知る事である。町内会で福祉の研修会を行う場合、町内にいる福祉施設などで働いている人に施設の話を語ってもらう事も有意義で、そうすることによってお互いに顔を知ることができる。地域はコミュニケーション不足で福祉施設などと上手に付き合っていない現状があるので、「顔見せ、顔出し、顔合わせ」は大切なキーワードと覚え、実践して欲しい。

町内会の会合に初めて顔を出した若いメンバーに、「よく来たね。会計係どうだい。」などと押し付けては、離れて行ってしまおう。参加する人が自分なりの目的や意義を持って楽しみながら本音で語り合える関係になることが大事だ、と冒頭に話された結論に結び付けられていました。



防災ワンデー『釧路防災講演会 2019』



橋本台長の講演



橋爪センター長の講演

すぐ避難。④自分の命は自分で守る。などが語られました。

次いでNHK報道局災害・気象センター長橋爪尚泰氏は「情報で命と暮らしを守る」と題し、災

1月13日(日)に『釧路防災講演会』が開催されました。この講演会は、地震等災害に対する備えや知識、防災行動力を身につけていただくためのもので、副題は「巨大地震に備える～日頃の心構えと情報で命と暮らしを守る～」でした。

最初に釧路地方気象台台長橋本勲氏から「巨大地震・・・その日のために～正しくおそれ、そして備える～」と題した講演があり、①地震は必ずやってくる。②事前の準備でほぼ決まる。③揺れ終わったら津波にそなえて

害報道の役割を、災害時には①被害の軽減・防止、②救援活動の支援、③生活再建・復興支援にあり、平常時には安全な社会の構築にあると語られました。

講演の時間が短く感じるほどに大変分かりやすい講演でした。

また、会場には防災グッズが展示されていました。



会場に展示された防災グッズ

第44回子どもかるた大会

青少年の健全を願い、44回目となる子どもかるた大会を2月24日(日)に湿原の風アリーナで実施しました。小学生低学年の部には26チーム、同中学年の部には22チーム、同高学年の部には19チーム、そして中学・高校生の部には4チーム、合計71チームの参加がありました。

決勝戦まで真剣な勝負の連続で、進行時間が遅れて気をもむ大人たちを横目に、子ども達は元気に競技を楽しんでいました。



決勝まであと一つ！みんな頑張れ！！

入賞チーム一覧 (所属チーム又は児童館名、チーム名)

	小学生低学年の部	小学生中学年の部	小学生高学年の部	中学・高校生の部
優勝	望洋 一札入魂	teamひゃっくー team 蒼空	teamひゃっくー team 蒼昊	阿寒子供 阿寒の龍王
準優勝	teamひゃっくー team 蒼星	teamひゃっくー team 蒼桜	teamひゃっくー team 蒼海	teamひゃっくー team 蒼天
第3位	鶴ヶ岱 雲中白鶴	緑ヶ岡 緑の風	teamひゃっくー team 蒼鳳	
第4位	緑ヶ岡 緑の月	鶴ヶ岱 鶴寿千歳	桜ヶ岡 初桜	



春の一斉清掃4月20日(土)に!

例年第3日曜日に設定している春の一斉清掃を、統一地方選挙(市議選)との重なりを避けるため、20日(土)の設定としました。

なお、既に21日(日)に実施を決定している町内会は、投票に支障が出ないように、ご配慮をお願いします。

春の全市一斉清掃・注意事項

- 集めたごみは「環境美化活動用ごみ袋」に入れてください。可燃ごみと一緒に収集しますが、一斉清掃のごみは分別不要です。
- 側溝等の清掃で、大量の土砂が予想される場合は、あらかじめ市役所道路維持事業所(24-3322)にご連絡ください。
- 不法投棄された大型ごみについては、回収せず発見した場所を市役所環境事業課にご連絡ください。(31-4551)
- 放置された自転車は盗難品の可能性がありますので、動かさず、最寄りの交番に報告してください。

中鶴野町内会で防犯カメラを試験設置



中鶴野町内会(細野勝睦会長代行 390戸)は、通学路での生徒・児童の安全確保のため、人家が途切れる鶴野小学校と中鶴野団地の間に試験運用の防犯カメラを設置しました。

この試験設置について、細野会長代行は、「通学路、それは学校と家庭をつなぐ糸道と思っています。その道が事故なく安心安全な道でありますよう願っています。」と事件・事故の未然防止に向けた防犯カメラへの期待を熱く語っていました。

わが街この街
シリーズ 82

～人にやさしい・住みよい町内会を目指して～

昭和中央4丁目町内会 会長 佐川 政志

私たちの昭和中央4丁目町内会は、釧路市昭和地区の中央部に位置する昭和中央4丁目と5丁目の一部を拠点に活動している町内会です。

設立は、昭和地区18番目の町内会として平成10年4月1日に設立し、昨年度、おかげさまで創立20周年の節目を迎えることができました。

設立当時は、会員数が44世帯あまりで、地域を見回すと住宅もまばらであり、キツネを始めとした野生生物を見かけることもあって珍しい光景ではありませんでした。

現在は、住宅や店舗が数多く立ち並び、今や会員数も95世帯を数え、役員15名、9班体制で絆を深めながら運営しております。

本会は、「会員の相互理解、親睦、福祉の増進」を目的に、地域周辺の美化清掃活動、夏季夜間巡回パトロールなどの環境衛生、防犯活動、そして、七夕まつり、ラジオ体

操、もちつき大会といった青少年育成活動など幅広い活動を行っております。中でも夏の夜長に生ビールと焼肉に舌鼓を打つ

「町内夏祭り」は、例年90名を超える参加者があり、交流の場として好評のイベントとなっております。

今後とも会員の理解・協力・参加を得て、「人にやさしい・住みよい」町内会を目指していきます。



昨年開催した創立20周年記念祝賀会

1. 元気で働き、明るく豊かなまちをつくりましょう。
1. きまりを守り、安全で安心な住みよいまちをつくりましょう。
1. 緑を育て、自然豊かなきれいなまちをつくりましょう。

1. 人にやさしく、心ふれあう温かいまちをつくりましょう。
1. 文化を高め、命を尊ぶ平和なまちをつくりましょう。
1. 郷土を愛し、世界に誇れるまちをつくりましょう。

みんなでつくろう ゴミのないまち きれいなふるさと

第5回理事会報告

平成30年度の第5回理事会が3月5日(火)に開催されました。報告及び協議事項は次のとおりです。

【報告事項】

- ①地区連合町内会長懇談会の開催(2月14日)
- ②子どもかるた大会の実施(2月24日)

【協議事項】

- ①平成30年度事業報告案
- ②2019年度活動方針及び事業計画案
- ③2019年度行事予定表案
- ④役員選考委員会規程及び役員選考委員

※新年度の事業計画案は今年度までの活動をしっかり継続していこうというものですが、特に連町全体として防災・減災を意識して事業に取り組もうという方向性が示されました。

行事参加や各種提出書類のお願い

年度当初に次のことをお願いします。(町内会長に詳しい案内が届いています)

- ①広報紙コンクール 締切4月12日(金)
- ②組織現況調査 締切4月19日(金)
- ③市長・連町表彰 推薦締切4月19日(金)
- ④春の一斉清掃 4月20日(土)
- ⑤町内会活動保険 締切5月10日(金)
- ⑥市連町総会 5月18日(土):

(町内会長の出席をお願いします。)

民生委員・児童委員と町内会の連携を!

民生委員・児童委員の皆さんが担当地域を決めて活動されています。活動を理解し、町内会からエールを送りましょう。

会費納入表をご活用ください

ご希望の際は事務局にお越しくください。

<<事業所等からの町内会応援宣言>>

前回の紹介以降、次の事業所の皆さんから応援宣言いただきました。

(株)リアブル、藤田印刷(株)

※この欄では、「私たちは町内活動を応援します」というアンケートに答えていただいた団体・事業所等を紹介しています。



社会福祉協議会が進める地域福祉推進事業は、地域住民、特に町内会の皆様のご協力を得て進めている事業が多く、日々助け合う力の大切さを感じているところであり、あります。

2018年度より、4期目となる地域福祉実践計画『くしろ地域福祉実践プラン2018』のもとに事業を進めており、2003年度策定の第1期計画で推進目標に掲げた『ふれあい・いきいきサロン事業』は、現在48町内会と2つの地区連合町内会、

「社会福祉協議会と町内会活動」

社会福祉法人 釧路市社会福祉協議会 会長 土井英昭

2013年度策定の第3期計画では、小学校区内における団体・組織・住民の繋がりの形成を目的とした『小地域ネットワーク活動活性化事業』を進め、現在では8つの小学校区で展開するなど、本会が進める地

2013年度策定の第3期計画では、小学校区内における団体・組織・住民の繋がりの形成を目的とした『小地域ネットワーク活動活性化事業』を進め、現在では8つの小学校区で展開するなど、本会が進める地



4つの地区社協で年間約400回実施されるところまで普及してまいりました。2008年度策定の第2期計画では『緊急連絡カード推進事業』に取り組み、402町内会で緊急連絡カードが活用されています。

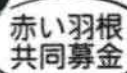
域福祉推進事業は、常に町内会関係者のご協力を得ながら共に進めて参りました。

現在は地域における多世代交流を目的とした地域食堂の支援にも取り組んでおり、様々な事業で地域の繋がりを形成や活性化を進めていきたいと今後とも本会

主な行事予定

- 4月8~12日 新入学(園)期の交通安全運動
- 4月20日(土) 春の一斉清掃
- 5月18日(土) 市連町定期総会

※次回の連町通信は、6月26日発行です。



連町通信は、赤い羽根共同募金の支援を受けて発行しています。